

環境

次に、二番目に大きな柱となるのが環境であります。

本市では、このたび宮城県内で初めて「水道水源保護条例」の制定を提案いたしました。本条例は、その目的に本市独自に「住民のきれいな水を享受する権利を守ることを明文化すること」に、「水源保護地域」を指定し、水道水源水質の汚染などの不安や恐れのあるゴルフ場、産業廃棄物最終処分場等の立地を規制するものです。このことにより、将来にわたって住民が安全で安心して生活していくために欠くことのできない飲料水の供給ができるものと確信いたします。

一方、環境基本計画の理念である地球規模での環境問題に取り組むため、現在、平成十三年度内の「ISO14001」の認証取得を目指しながら、環境マネジメントシステムの構築を進めております。

具体的には、地球環境に配慮した行政を行うため、施設管理やあらゆる事務事業が、環境に負荷を与えないようにすることをこれまで以上に確固たる手順で確保するとともに、今後、これを市民に普及徹底させていくことを最終の目的としながら、「白石らしさ」である歴史ある水の文化と緑の自然を後世に引き継ぐために、住みよい環境の保全に努めてまいります。

また、本年四月から施行される「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」については、市内家電業者の協力を得ながら、限りある地球資源の有効活用を図り、廃棄物による環境負荷を極小するため、循環型社会の形成を目指してまいります。

生涯学習

三番目の柱は生涯学習であります。

物の豊かさから心の豊かさの時代へと、そして中央の文化から地域文化の時代へとゆくりと着実に変遷している今日、二十一世紀の都市間競争のキーを握るのは間違いなく文化であり、生涯学習の推進であると認識しております。

本市の生涯学習推進については、平成四年に本市を会場に開催された第四回全国生涯学習フェスティバルを契機として、これまで市長部局への推進室の設置、本市独自の生涯学習フェスティバルの開催をはじめ、各種施策を展開してきたところであります。特に、碧水園、白石城、スパッシュランド、ホワイトキューブなど、生涯学習施設を有効活用した事業を積極的に実施し、その推進に努めております。

このことは先月二十五日の日経新聞夕刊で、本市にゆかりのできた作家の林真理子さんが、本市を「ソフトが伴った音楽の町」であると絶賛した記事を掲載されたことが証明しております。

また、県内外からも本市の文化に対する取り組みが高く評価されていることから、本年度も白石市文化体育活動センターを中心とした文化及び体育事業を積極的に展開するとともに、生涯学習施設の利活用を図りながら、文化の振興、生涯学習の推進に努めてまいります。

本市には先人が築きあげた歴史的な文化遺産が数多く残されており、真田幸村公の墓碑や真田家とゆかりのある当信寺や清林寺もその一つであり、本年十一月には真田氏と関係のある全国の市町村が本市に集い、新世紀を記念した「真田サミット」が開催されることから、本サミットを通して人的、物的な交流を深め、広域連携のもとに

地域活性化を図ってまいります。

さらに、本年は「新世紀みやぎ国体」が開催されます。

本市におきましては、秋季大会として十月十四日、十五日の二日間に山岳競技が、また、十五日、十六日の二日間にわたり新体操競技が開催されます。その支援のために行政はもとより、市民の皆さんのボランティアが大いに期待されているところであります。

地域情報化の推進

四番目の柱が各分野における情報化であります。

本市の公共施設ネットワークである白石インターネットは、情報センター「アテネ」を中核拠点として、昨年度までにすべての公民館と小中学校を含む四十箇所が接続されました。今年度からは、事故防止に向けたセキュリティ対策も念頭に置きつつ、その情報通信インフラを活用したシステムの整備に力を注いでまいります。

地域イントラネット基盤整備事業で整備された市議会ライブ中継は、次期定例会市議会からの運用に向けて準備中であり、放送通信機構（TAO）に採択された「地域ボランティア福祉活動情報提供システム」実験事業も開始されたことから、IT社会における市民生活向上に向けたソフトの充実に取り組み所存であります。

もちろん、ハード面の整備につきましても時々刻々と進む情報技術の進展を見据えながら、中心市街地活性化基本計画に計画されているような産業面での活用も考慮して、その整備に対しては関係機関に財政支援を働きかけてまいります。

また、政府の打ち出した日本新生プランにかか

るIT利用技能の向上については、本市はすでに

教育

次に、教育であります。危険建物に指定され、平成十二年より設計に入っております福岡中学校体育館、さらに、南中学校体育館建設工事は、年度内の完成を目指してまいります。同時に、南中学校については、できるだけ早い時期に危険校舎の指定を受け、一日も早い校舎の建設に努力してまいります。

都市基盤の整備

次に、都市基盤の整備を進める上で、また、安全で快適な土地利用を図っていくために必要となる土地分類細部調査についてであります。昨年度に引き続き国土交通省の補助を受けながら、継続して実施してまいります。

都市計画道路「八幡町兎作線」については、白石高校前の区間四十メートル、さらにボケットパーク工事を平成十二年度繰越工事として整備いたします。

また、都市計画道路「中河原白石沖線」についても、用地買収がほぼ完了することから、本年度は国道一三号から新国道一三号バイパスまでの百三十一メートルを整備し、完成する予定であります。

さらに、本年度新たに都市計画道路「沖ノ沢郡山線」の路線全体の調査設計を行い、平成十四年度新規事業の採択を目指してまいります。



アテネで開催されている「パソコン講習会」



◀式典補助など多くの市民の協力を受けて開催された「みやぎ国体（新体操）リハーサル大会」



市民合唱団として定着した「キューブ&キューブジュニア合唱団」のジョイントコンサート

